

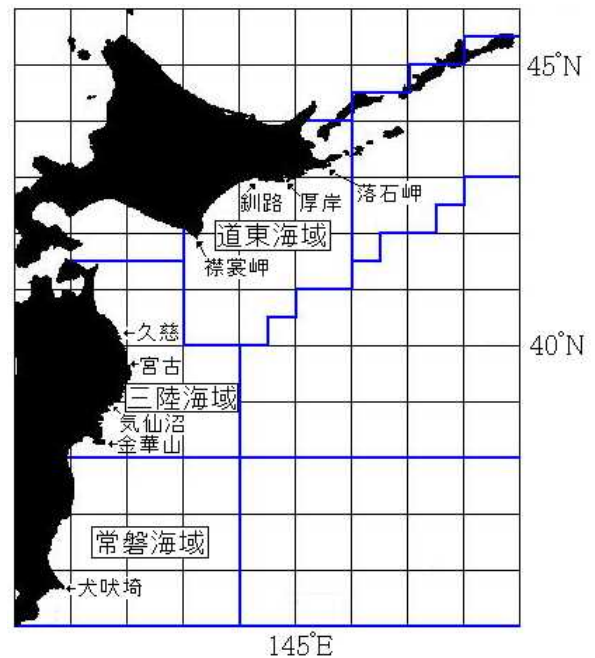
## 2023年度 第5回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2023年10月下旬～12月上旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、10月下旬の来遊量は低位水準で推移する。
- ・三陸海域では、10月下旬の来遊量は低位水準で増加する。
- ・常磐海域では、11月上旬になると断続的に来遊があるが、来遊量は少ない。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部  
担当：渡邊、緑川  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<https://www.jafic.or.jp/information/category/gyokyo/>

# 2023年度 第5回サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2023年10月下旬から12月上旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

10月下旬～11月中旬の来遊量は、低位水準で推移する。11月下旬は断続的な来遊となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

道東海域では、10月下旬～11月中旬は落石～襟裳岬沖に漁場が形成される。11月下旬は、襟裳岬沖に漁場が残る。12月上旬は、漁場は形成されない。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

10月下旬の来遊量は、増加するものの、低位水準である。来遊量は、11月上旬～中旬は低位水準で推移し、11月下旬～12月上旬は低位水準で減少する。

#### (2) 漁場

10月下旬～11月下旬は、三陸北部～南部海域に漁場が形成される。12月上旬は、三陸南部に漁場が形成される。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

10月下旬は、来遊は無い。11月上旬～中旬は、断続的な来遊があるが、来遊量は少ない。11月下旬～12月上旬は、低位水準で推移する。

#### (2) 漁場

10月下旬は、漁場は形成されない。11月上旬～12月上旬は、常磐北部に漁場が形成される。

## 2. 予測の概要

海 域		10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬
道東海域	来遊量	→	→	→	→	
	動向	低位水準	低位水準	低位水準	断続的	
	漁 場	落石～襟裳岬沖	落石～襟裳岬沖	落石～襟裳岬沖	襟裳岬沖	
三陸海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	低位増加	低位水準	低位水準	低位減少	低位減少
	漁 場	三陸北部～南部	三陸北部～南部	三陸北部～南部	三陸北部～南部	三陸北部
常磐海域	来遊量		→	→	→	→
	動向		断続的	断続的	低位水準	低位水準
	漁 場		常磐北部	常磐北部	常磐北部	常磐北部

### 3. 漁況の経過概要（10月上旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

道東海域における来遊量は、9月下旬よりもやや増加し、前年を上回ったものの、少なかった。CPUE（1網あたりの漁獲量）は9月下旬よりもやや増加し、前年を上回った。

道東海域より東側の公海における来遊量は、9月下旬よりもやや減少し、前年並みであった。

##### (2) 漁場

道東海域における主漁場は、落石南南東60海里～襟裳岬東南東50海里であった。

落石南南東60海里～襟裳岬東南東50海里の漁場水温16～18℃では、大型船が数隻～35隻程度と小型船が操業。大型船で最高11.5トン、平均4.2トン漁獲した。

道東海域より東側の公海である落石東北東420～450海里の漁場水温16～19℃では、10月1～2日夜に漁場が形成された。大型船が25隻程度操業し、最高3トン、平均0.5トン漁獲した。

##### (3) 魚体

道東海域では、体長26～30cmモードであった。体重は60～120g台が主体であった。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

三陸海域における来遊量は、前年を上回ったものの、少なかった。CPUEは、前年を上回った。

##### (2) 漁場

三陸海域では、10月7日夜以降、漁場が形成された。三陸海域における主漁場は、宮古東70～100海里であった。

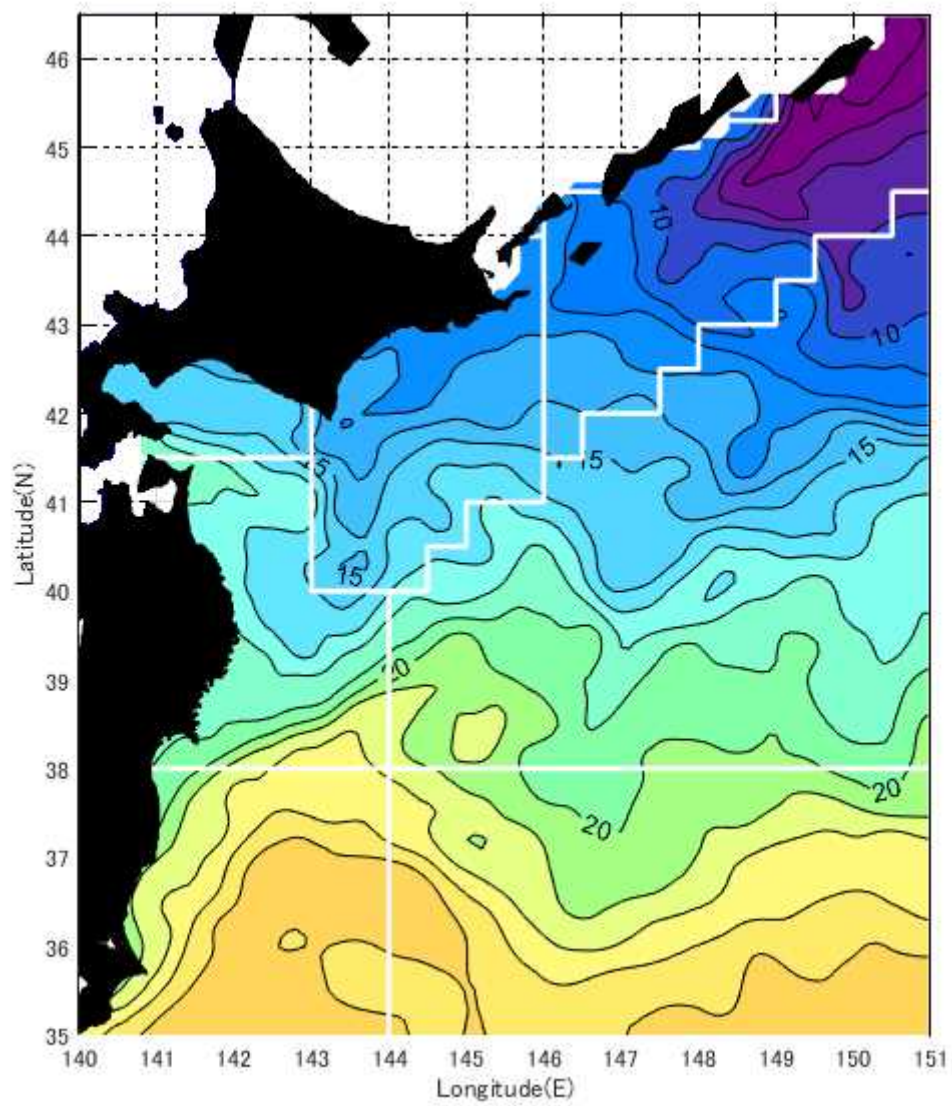
宮古東70海里～100海里の漁場水温16～17℃では、大型船が5～25隻程度操業。大型船で最高30トン、平均8.8トン漁獲した。

##### (3) 魚体

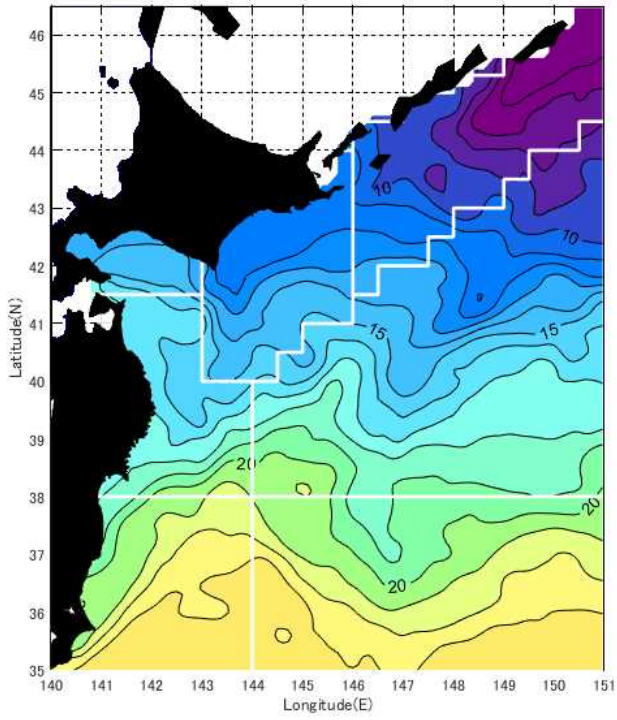
三陸海域では、体長26～30cmモードであった。体重は60～110g台が主体であった。

#### 4. 予測水温分布図

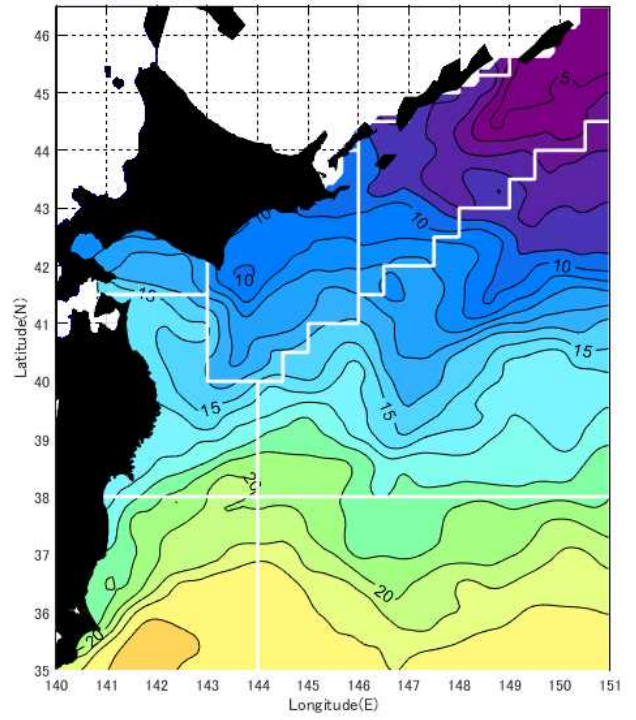
10月下旬予測表面水温分布図



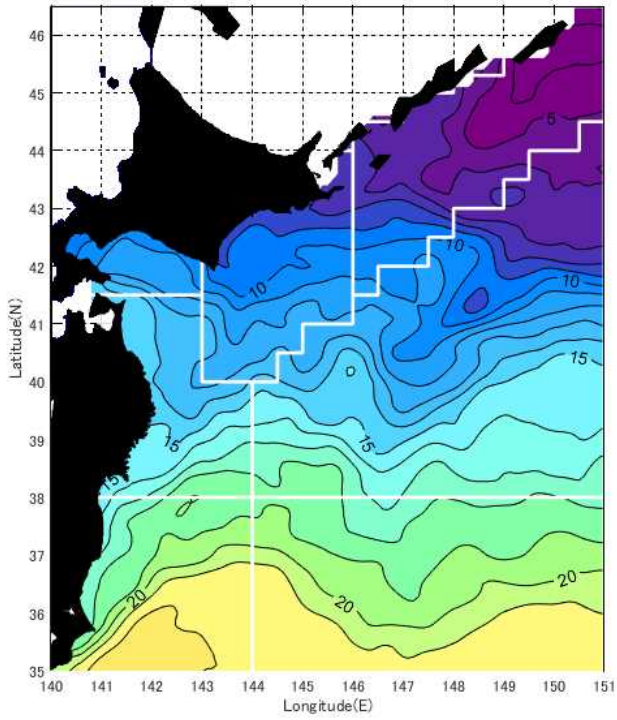
11月上旬予測表面水温分布図



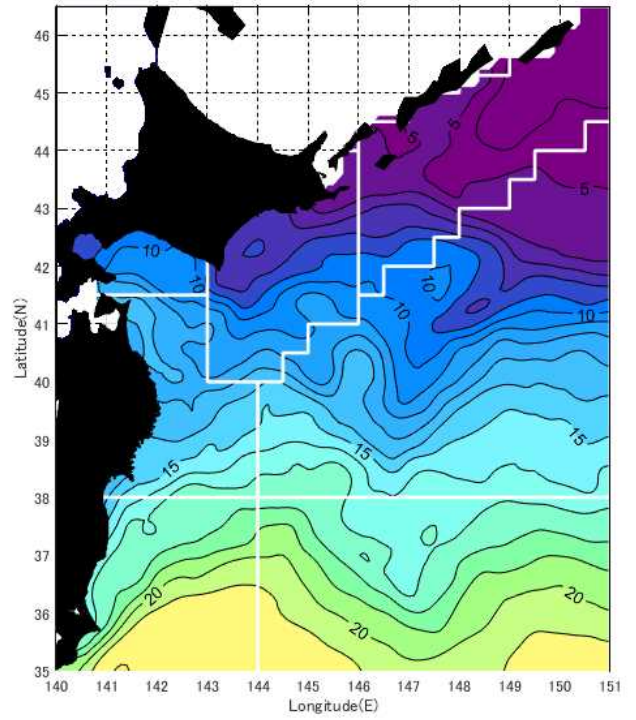
11月中旬予測表面水温分布図



11月下旬予測表面水温分布図



12月上旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---